

N

F

C

NFC CALENDAR

大ホール(2階)

よみがえる日本映画 vol.5[日活篇]

—映画保存のための特別事業費による

The Little Known Japanese Cinema vol.5
— NFC's Newly Acquired Collection from Major Film Studios

2013年2月5日(火) - 3月17日(日)

電力事情など今後の状況により急遽スケジュールが変更される可能性もございます。最新の情報は、当館ホームページ又はハローダイヤルにてご確認ください。

2月の休館日:

月曜日

大ホール

開映後の入場はできません。

定員=310名(各回入替制)

料金=一般500円 / 高校・大学生・シニア300円 / 小・中学生100円 /

障害者(付添者は原則1名まで)、キャンパスメンバーズは無料

発券=2階受付

- 観覧券は当日・当該回のみ有効です。
- 発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切ります。
- 学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示ください。
- 発券は各回1名につき1枚のみです。

東京国立近代美術館フィルムセンター

National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo

よみがえる日本映画

—映画保存のための特別事業費による

vol. 5
日活篇

2013

2

NFCカレンダー
2013年2月号

大ホール 上映作品

よみがえる日本映画 vol.5
[日活篇]
—映画保存のための特別事業費による
The Little Known Japanese
Cinema vol.5 - NFC's Newly
Acquired Collection from
Major Film Studios

フィルムセンターでは、平成21年度補正予算から映画保存のための特別事業費を得て、通常の収集活動では困難なフィルム・コレクションの拡充や原版素材の整備に取り組んできました。事業の実施にあたっては、次のような二つの方針が定められました。

- ①フィルムセンターがこれまでに収集した貴重なフィルムから保存用のネガと上映用のニュー・プリントを作成する。
- ②映画会社が保管している旧作映画のうち、既にネガが失われマスター・ポジ、上映プリントのみが残されている作品を調査して、ネガとニュー・プリントの作成を行う。

今回の特別事業により、既存のコレクションからの原版作成は159作品、映画会社からの購入は173作品、総数では332作品(フィルムの総数は909本)が新たにフィルムセンターのコレクションとして収蔵されることになりました。とりわけ後者は、これまでフィルムセンターでの収集がかなわなかった作品、映画館のスクリーンでは久しく見ることができなかった作品がほとんどを占めています。それらをまとめて紹介する企画の第5弾として、今回は、創立100周年をむかえた日活の足跡をたどった企画上映「日活映画の100年日本映画の100年」に続き、同社の1950年代の主要作品を中心に、計27本を紹介するプログラムとなります。ニュー・プリントで甦った日本映画をフィルムセンターの大スクリーンでお楽しみください。

*本事業の実施にあたっては、社団法人日本映画製作者連盟加盟社等映画会社各社および現象所各社のご協力をいただきました。

*『百万ドルの明星 陽気な天国』『地獄の波止場』『8時間の恐怖』は、2011年3月に開催した「よみがえる日本映画—映画保存のための特別事業費による」で上映した作品です。

- ◎=監督・演出 ◎=原作・原案 ◎=脚本・脚色 ◎=撮影 ◎=美術・装置 ◎=音楽 ◎=出演
- スタッフ、キャストの人名は原則として公開当時の表記を記載しています。
- 特集には不完全なプリントが含まれていることがあります。
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。



國定忠治

1 2/5(水)3:00pm 2/17(日)4:00pm 2/28(木)7:00pm

國定忠治(116分・35mm・白黒)

戦後の製作再開第1回作品(『かくて夢あり』と同時上映)。新国劇の代表作であり、戦前より何度も映画化されてきた「國定忠治」。菊島隆三のオリジナル脚本による本作は、辰巳柳太郎、島田正吾の二大看板をはじめ、当時の新国劇の俳優が総出演している。再開したばかりの日活は、このようなコラボレーションで、何とかスター不足を乗り切ろうとした。

'54(日活)◎滝沢英輔◎菊島隆三◎峰重義◎進藤誠吾◎大森盛太郎◎辰巳柳太郎、島田正吾、津島恵子、花柳小菊、野村清一郎、石山健二郎、秋月正夫、河村憲一郎、岡泰正、清水彰、久松喜世子、千早隆子、畑中夢波

2 2/5(水)7:00pm 2/23(土)1:00pm 3/6(水)3:00pm

地獄の剣豪 平手造酒(105分・35mm・白黒)

『國定忠治』と同じく、菊島隆三脚本、日活と新国劇のコラボレーションによる時代劇。平手造酒(辰巳)が愛する女・お吟を山田五十鈴、造酒と対する助五郎一家の用心棒を宇野重吉が演じる。島田正吾は千葉道場の総師範・千葉周作役で僅かに出演するのみ。

'54(日活)◎滝沢英輔◎菊島隆三◎三村明◎小池一美◎大森盛太郎◎辰巳柳太郎、山田五十鈴、島田正吾、宇野重吉、南壽美子、石山健二郎、秋月正夫、三島雅夫、畑中夢波、山形勲、野村清一郎、河村憲一郎、清水彰

3 2/6(木)3:00pm 2/23(土)4:00pm 3/1(金)7:00pm

俺の拳銃は素早い(94分・35mm・白黒)

戦前は日活多摩川撮影所に所属し、監督にも昇進していた野口博志。だが、1942年の戦時統制により日活の製作部門が大幅に吸収されたことから、松竹で再び助監督を経験したのち、戦後に製作再開した日活へカムバック。本作は、野口の日活での監督再デビュー作であり、フィルム・ノワール風の私立探偵もの。

'54(日活)◎野口博志◎渡邊肇◎高岩肇◎永塚一榮◎小池一美◎仁木他喜雄◎河津清三郎、日高澄子、伊豆肇、植村謙二郎、石黒達也、清水将夫、名和宏、朝美矢子、星野みよ子、柳谷寛、田島義文、清水一郎、本郷秀雄

4 3/12(水)7:00pm

百万ドルの明星 陽気な天国(73分・35mm・白黒)

歌手の近江俊郎が製作・原案・主演を担当し、古川緑波(ロッパ)が監督・脚本・出演を引き受けた歌謡映画。他に森繁久彌や三木のり平などが出演、古賀政男、東郷青児などが特別出演。レコード歌手を目指す艶歌師(近江)が古賀の名を騙る書生・久森(森繁)にそそのかされて上京。本物の古賀に歌は聴いてもらえなかったが、近江俊郎の真似だと言われてしま...

'55(近江プロ)◎◎◎◎古川緑波◎◎◎◎近江俊郎◎◎◎◎杉本正二郎◎◎◎◎東郷青児◎◎◎◎古賀政男◎◎◎◎森繁久彌、三木のり平、曉テル子、丹下キヨ子、東郷たみみ、城美保子、姫路和子

5 2/6(木)7:00pm 2/24(日)1:00pm 3/5(水)3:00pm

花のゆくえ(99分・35mm・白黒)

連続ラジオドラマ原作のメロドラマ。『ひめゆりの塔』(今井正監督、1953)、『七人の侍』(黒澤明監督、1954)に出演するなどめざましい活躍を見せた津島恵子と、宝塚歌劇団のトップ娘役として知られ、これが日活入社第1作となった新珠三千代との共演が見所。ラジオドラマのスポンサーであった森永製菓の商品名が本作でも、画面のあちこちに登場している。

'55(日活)◎◎◎◎森永健次郎◎◎◎◎阿木翁助◎◎◎◎成澤昌茂◎◎◎◎三村明◎◎◎◎坂口武玄◎◎◎◎古賀政男◎◎◎◎津島恵子、新珠三千代、若原雅夫、岡田英次、伊藤雄之助、殿山泰司、多々良純、金子信雄、芦田伸介、坪内美子、清川玉枝、矢吹壽子、東恵美子

6 2/7(木)3:00pm 2/24(日)4:00pm 3/6(水)7:00pm

母なき子(89分・35mm・白黒)

南田洋子主演の母もの風人情ドラマ。富子(南田)は、浪曲師の父の弟子だった安吉(清水)の紹介で、東京の自動車工場で働く省二(三島)と結婚。しかし、省二には幼い息子(亀谷)がいることが分かり、富子は地元の大阪に逃げ帰る。だが、省二は間もなく病死し、息子がひとり残される。

'55(日活)◎◎◎◎堀池清◎◎◎◎新藤兼人、高橋二三◎◎◎◎柿田勇◎◎◎◎丸茂孝◎◎◎◎岡岡裕◎◎◎◎南田洋子、亀谷雅敏、三島耕、三橋達也、明智三郎、清水一郎、近藤宏、畑中夢波、柳谷寛、沢村国太郎、利根はる恵、東谷映子、高友子

7 2/7(木)7:00pm 2/19(水)3:00pm 3/9(土)1:00pm

石合戦(92分・35mm・白黒)

劇団民藝と大蔵貢の設立した富士映画(大蔵映画の前身)が製作し、日活が配給した児童映画。原作は、摂津・多田神社の神職を父に持つ上司小剣の「石合戦」「天満宮」。村の中央に流れる猪名川を挟んで、石合戦をし、水遊び場を取り合う二つの集落の子供たち。当時の劇団民藝から、宇野重吉、奈良岡朋子、鈴木瑞穂、草薙幸二郎、下條正巳などが出演。また、多田神社の一人息子・竹丸(浜田)の母に山田五十鈴。

'55(劇団民藝=富士映画)◎◎◎◎若杉光夫◎◎◎◎上司小剣◎◎◎◎松丸青史、吉田隆一、村山亞土◎◎◎◎仲澤半次郎◎◎◎◎江坂実◎◎◎◎草川啓◎◎◎◎山田五十鈴、宇野重吉、小澤栄、内藤武敏、嵯峨善兵、高田敏江、奈良岡朋子、小夜福子、浜田光弘、九谷常行、小谷野博、長谷川一夫、渡辺見、鈴木瑞穂、草薙幸二郎、下條正巳

8 2/8(金)3:00pm 2/19(水)7:00pm 3/10(日)1:00pm

神阪四郎の犯罪(111分・35mm・白黒)

久松静児監督が、石川達三の原作小説を、『警察日記』(1955)と同じく森繁久彌主演で映画化。裁判で互いに食い違う証言を通じて、神阪(森繁)と彼を取り巻く人々の心の奥底に迫る構成は、公開当初より、『羅生門』(黒澤明監督、1950)と比較され、話題になった。姫田真佐(佐)久のカメラは、神阪と関係を持つ千代を演じる左幸子を捉えるときなどに、とりわけ大きな力を発揮している。

'56(日活)◎◎◎◎久松静児◎◎◎◎石川達三◎◎◎◎高岩肇◎◎◎◎姫田真佐◎◎◎◎木村威夫◎◎◎◎伊福部昭◎◎◎◎森繁久彌、新珠三千代、左幸子、瀧澤修、金子信雄、高田敏江、轟夕起子、穴戸錠、杉幸彦、深見泰三、清水将夫、宮坂将嘉、伊達信

9 3/15(金)3:00pm

地獄の波止場(87分・35mm・白黒)

俳優・小杉勇が戦後の日活で初めて監督した作品。陶山鉄原作「海霧」を浅野辰雄が脚色。製鉄所内を走る熔鉄列車の老機関士(小杉)が、定年を間近に控えたある夜働の日、強盗同士の殺人を目撃、残された金を持ち逃げする。金は組合の金庫から奪われたもので、同じ職場で働く娘の恋人(三橋)に嫌疑がかかる。製鉄所のロケーション撮影が見事。

'56(日活)◎◎◎◎小杉勇◎◎◎◎陶山鉄◎◎◎◎浅野辰雄◎◎◎◎山崎安一郎◎◎◎◎坂口武玄◎◎◎◎小杉太一郎◎◎◎◎三橋達也、木室郁子、安部徹、隅田恵子、北林谷榮、深見泰三、月野道代、深水吉衛、大友純

10 2/8(金)7:00pm 2/20(水)3:00pm 3/9(土)4:00pm

東京の人 前後篇(125分・35mm・白黒)

川端康成が新聞に連載し、ラジオドラマにもなった同名原作の映画化作品。月丘夢路・新珠三千代・左幸子・芦川いづみといった、当時の日活の人気女優を総動員した文芸メロドラマ。未亡人の白井敬子(月丘)と、その二人の子供(左、青山)は、戦後に出版社を興した島木(滝沢)とその娘の弓子(芦川)と共に、何不自由ない暮らしを送っていた。しかし、出版社の事業が傾き、金策も尽きた島木は失踪してしまう。

'56(日活)◎◎◎◎西河克巳◎◎◎◎川端康成◎◎◎◎田中澄江、寺田信義◎◎◎◎横山実◎◎◎◎松山崇◎◎◎◎池田雅之◎◎◎◎月丘夢路、新珠三千代、左幸子、芦川いづみ、葉山良二、滝沢修、芦田伸介、金子信雄、桂典子、青山恭二、山田禪二、鴨田喜由、冬木京三

11 2/9(土)1:00pm 2/20(水)7:00pm 3/7(木)3:00pm

流離の岸(101分・35mm・白黒)

新藤兼人監督は、日活では計3本を手掛けており、これはそのうちの1作。母(乙羽)の再婚でできた新しい家族になじめなかった娘(北原)。やがて高校生になり、家を離れて下宿生活を送っていた娘は、級友(明石)の兄(三國)に、愛し合うようになるが…。母娘二代にわたる、女の生きづらさそして生き抜く力強さを描く。

'56(日活)◎◎◎◎新藤兼人◎◎◎◎大田洋子◎◎◎◎伊藤武夫◎◎◎◎丸茂孝◎◎◎◎伊福部昭◎◎◎◎北原三枝、乙羽信子、三國連太郎、菅井一郎、金子信雄、殿山泰司、村瀬幸子、坪内美詠子、廣岡三榮子、明石淳子、二木てるみ、赤木蘭子、齋藤雄一

よみがえる日本映画 vol.5 [日活篇] —映画保存のための特別事業費による
The Little Known Japanese Cinema vol.5 - NFC's Newly Acquired Collection from Major Film Studios

月	火	水	木	金	土	日
2月	1 國定忠治 (116分) 3:00pm	3 俺の拳銃は素早い (94分) 3:00pm	6 母なき子 (89分) 3:00pm	8 神阪四郎の犯罪 (111分) 3:00pm	11 流離の岸 (101分) 1:00pm	13 悪魔の街 (82分) 1:00pm
	2 地獄の剣豪 平手造酒 (105分) 7:00pm	5 花のゆくえ (99分) 7:00pm	7 石合戦 (92分) 7:00pm	10 東京の人 前後篇 (125分) 7:00pm	12 海の純情 夜霧の才二國道 (48分) 4:00pm	14 逆光線 (91分) 4:00pm
	15 地下から来た男 (78分) 3:00pm	17 愛は降る星のかなたに (94分) 3:00pm	19 浮草の宿 (74分) 3:00pm	21 私は前科者である (90分) 3:00pm	23 永遠に答えず 青春篇 (90分) 1:00pm	26 羽田発7時50分 (58分) 1:00pm
	16 感傷夫人 (92分) 7:00pm	18 地底の歌 (89分) 7:00pm	20 復讐は誰かやる (92分) 7:00pm	25 心と肉体の旅 (90分) 7:00pm	24 永遠に答えず 完結篇 (103分) 4:00pm	1 國定忠治 (116分) 4:00pm
	7 石合戦 (92分) 3:00pm	10 東京の人 前後篇 (125分) 3:00pm	12 海の純情 夜霧の才二國道 (48分) 3:00pm	14 逆光線 (91分) 3:00pm	2 地獄の剣豪 平手造酒 (105分) 1:00pm	5 花のゆくえ (99分) 1:00pm
	8 神阪四郎の犯罪 (111分) 7:00pm	11 流離の岸 (101分) 7:00pm	13 悪魔の街 (82分) 7:00pm	15 地下から来た男 (78分) 7:00pm	3 俺の拳銃は素早い (94分) 4:00pm	6 母なき子 (89分) 4:00pm
	23 永遠に答えず 青春篇 (90分) 3:00pm	24 永遠に答えず 完結篇 (103分) 3:00pm	25 心と肉体の旅 (90分) 3:00pm	20 復讐は誰かやる (92分) 3:00pm	16 感傷夫人 (92分) 1:00pm	18 地底の歌 (89分) 1:00pm
	21 私は前科者である (90分) 7:00pm	26 羽田発7時50分 (58分) 7:00pm	1 國定忠治 (116分) 7:00pm	3 俺の拳銃は素早い (94分) 7:00pm	17 愛は降る星のかなたに (94分) 4:00pm	19 浮草の宿 (74分) 4:00pm
	5 花のゆくえ (99分) 3:00pm	2 地獄の剣豪 平手造酒 (105分) 3:00pm	11 流離の岸 (101分) 3:00pm	13 悪魔の街 (82分) 3:00pm	7 石合戦 (92分) 1:00pm	8 神阪四郎の犯罪 (111分) 1:00pm
	12 海の純情 夜霧の才二國道 (48分) 7:00pm	6 母なき子 (89分) 7:00pm	14 逆光線 (91分) 7:00pm	17 愛は降る星のかなたに (94分) 7:00pm	10 東京の人 前後篇 (125分) 4:00pm	15 地下から来た男 (78分) 4:00pm
	18 地底の歌 (89分) 3:00pm	16 感傷夫人 (92分) 3:00pm	26 羽田発7時50分 (58分) 3:00pm	9 地獄の波止場 (87分) 3:00pm	25 心と肉体の旅 (90分) 1:00pm	21 私は前科者である (90分) 1:00pm
	4 百万ドルの明星 陽気な天國 (73分) 7:00pm	19 浮草の宿 (74分) 7:00pm	23 永遠に答えず 青春篇 (90分) 7:00pm	24 永遠に答えず 完結篇 (103分) 7:00pm	22 8時間の恐怖 (77分) 4:00pm	20 復讐は誰かやる (92分) 4:00pm
3月	5 花のゆくえ (99分) 3:00pm	2 地獄の剣豪 平手造酒 (105分) 3:00pm	11 流離の岸 (101分) 3:00pm	13 悪魔の街 (82分) 3:00pm	7 石合戦 (92分) 1:00pm	8 神阪四郎の犯罪 (111分) 1:00pm
	12 海の純情 夜霧の才二國道 (48分) 7:00pm	6 母なき子 (89分) 7:00pm	14 逆光線 (91分) 7:00pm	17 愛は降る星のかなたに (94分) 7:00pm	10 東京の人 前後篇 (125分) 4:00pm	15 地下から来た男 (78分) 4:00pm
	18 地底の歌 (89分) 3:00pm	16 感傷夫人 (92分) 3:00pm	26 羽田発7時50分 (58分) 3:00pm	9 地獄の波止場 (87分) 3:00pm	25 心と肉体の旅 (90分) 1:00pm	21 私は前科者である (90分) 1:00pm
	4 百万ドルの明星 陽気な天國 (73分) 7:00pm	19 浮草の宿 (74分) 7:00pm	23 永遠に答えず 青春篇 (90分) 7:00pm	24 永遠に答えず 完結篇 (103分) 7:00pm	22 8時間の恐怖 (77分) 4:00pm	20 復讐は誰かやる (92分) 4:00pm

展示室(7階)

【企画展】

ウエスタン

西部劇の世界

ポスターでみる映画史Part 1

Film History in Posters Part 1: Western Movies

『駅馬車』から『許されざる者』まで—

映画ポスターでつづる西部開拓史

1月8日(金)~3月31日(日) *月曜日は休室です。

新シリーズ「ポスターでみる映画史」の第1回となるこの展示会は、世界映画史において特権的な地位を占める西部劇に光を当てるポスター展です。傑作西部劇や往年の美男スターの出演作から近年の作品まで、戦後に公開された名作の日本版ポスターを通じてその系譜をたどります。専門家によるギャラリー・トークも開催されます。

*詳細は当該チラシまたはホームページをご覧ください。

【常設展】企画展に併設

NFCコレクションでみる
日本映画の歴史

Nihon Eiga: The History of Japanese Film From the NFC Non-film Collection

映画の渡来した19世紀末から発展を続け、二つの黄金時代を経験した日本映画の豊かな歴史を、長年フィルムセンターが収集してきた多彩なコレクション(ポスター、スチル写真、雑誌、製作資料、業界資料、カメラなど機械類、映画人の遺品、映像など)によってたどります。日本映画史の新しい学びの場として、小学生から大人まで幅広い世代の方々を対象とする内容になっています。(Captions in Japanese and English)

開室時間=午前11時~午後6時30分

(入場は午後6時まで)

料金(企画展・常設展共通)=一般200円(100円)/大学生・シニア70円(40円)/高校生以下及び18歳未満・障害者(付添者は原則1名まで)、MOMAT/バスポートをお持ちの方、キャンパスメンバーズは無料

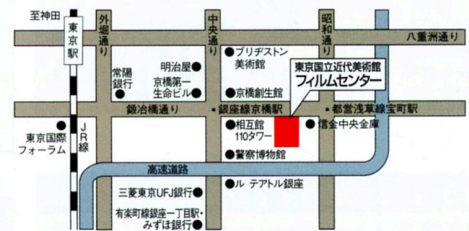
* ()内は20名以上の団体料金です。

* 学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示下さい。

* フィルムセンターが主催する上映会をご覧になった方は当日に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

常設展ギャラリー・トーク

毎月第一土曜日12時より(休室の場合は第二土曜日)
今月の開催日: 2月2日



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:

- 東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
- 都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
- 東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
- JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハローダイヤル03-5777-8600

NFCホームページ:

<http://www.momat.go.jp/>

NFC携帯電話ホームページ:

<http://www.momat.go.jp/nfc/k/>



図書室カレンダー

赤字は休室日

2月

月 火 水 木 金 土 日

1 2 3

4 5 6 7 8 9 10

11 12 13 14 15 16 17

18 19 20 21 22 23 24

25 26 27 28

図書室(4階)

開室=火曜日~土曜日(午後0時30分~午後6時30分/入室は午後6時まで) 閉室=休館日および日曜日・祝日

2階受付では、「NFCニュースレター」(隔月刊)を販売しています。これは、フィルムセンターのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルム・アーカイブやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。



東京国立近代美術館フィルムセンターは、国際フィルム・アーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。